

2019年11月12日(火)
株式会社ボーネルンド

音の出し方・音色が異なる、動物の形の楽器3種類と絵本のセット
「もりのおとあそび」を10月中旬より発売中
絵本の物語を一緒に作り上げて、親子のコミュニケーションも深まる

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、親子で音遊びが楽しめる絵本と楽器がセットになった「もりのおとあそび」を、全国のボーネルンドショップおよびオンラインショップで10月中旬より販売開始しました。

絵本と、絵本に登場する動物の形をした楽器で、親子のコミュニケーションが深まる音遊びを



「もりのおとあそび」は、子どもが親しみやすい、絵本と、その絵本に登場する動物の形をしたリズム楽器のセットです。フクロウを模した笛、かえるを模したギロ、さるを模したカスタネットの、音の出し方も音色も異なる3種類の楽器からなり、それぞれ「ホッホウー」「ゲロツゲロツ」「ウッキー、キー」と鳴き声のような音を奏でます。吹く・弾く・叩くの動作を通して、力加減や早さによって変わる音を出して楽しめます。

音遊びは、音やリズムで元気を出したり、心を落ち着かせたりする効果があるほか、言葉や体の動かし方の発達を促します。まだ言葉では自分の気持ちをうまく伝えられない時期でも、リズム楽器で表現遊びが楽しめます。

「ふくろうのおるすばん」「まいごのかえる」「おさるのだいぼうけん」の3つのお話の絵本と楽器がセットになり、親が絵本の読み聞かせをしながら、シーンごとに子どもが楽器を使って音を出すことで物語が進みます。親子で一緒に音を出すあそびは、親子の密なコミュニケーションを促すほか、子どもの社会性や想像力を育てることもつながります。

ハリリット社は、1941年に創立した本格的な楽器を製造しているイスラエルのメーカーです。すべての世代の音楽を愛する人へ「良いモノ」を届けたいと、1981年にそれまでの知識を活かし子どもの成長にそった楽器をつくりはじめ、学校を中心に音楽教育で使う楽器を製造しています。メロディの前にリズムを楽しめるシンプルな構造なので、リズムにふれて身体が自然と動き出す"子どもの大好きな音遊び"を生み出してくれます。

【ボーンエルンドについて】

ボーンエルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国78ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国21ヶ所、年間約277万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約30ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンエルンド 広報室
担当: 村上

TEL: 03-5785-0860、080-5901-3591

e-mail: public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンエルンド

TEL: 0120-358-518(月~金 10:00~17:00)